

新しい公・共性： 官・民・協・私の最適混合へ向けて



2004年12月15日@公共社会学研究会

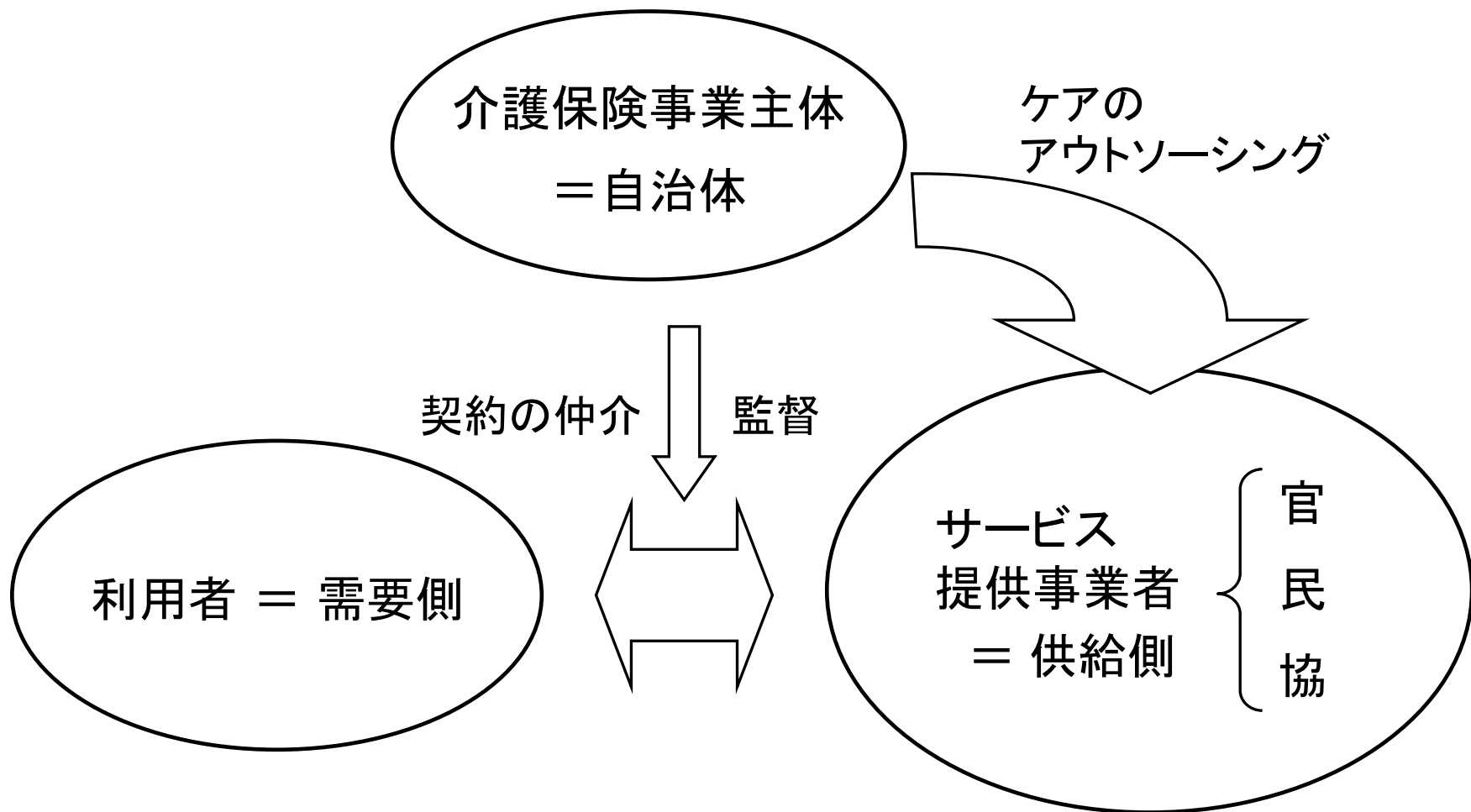
上野千鶴子

介護保険は「家族革命」だった

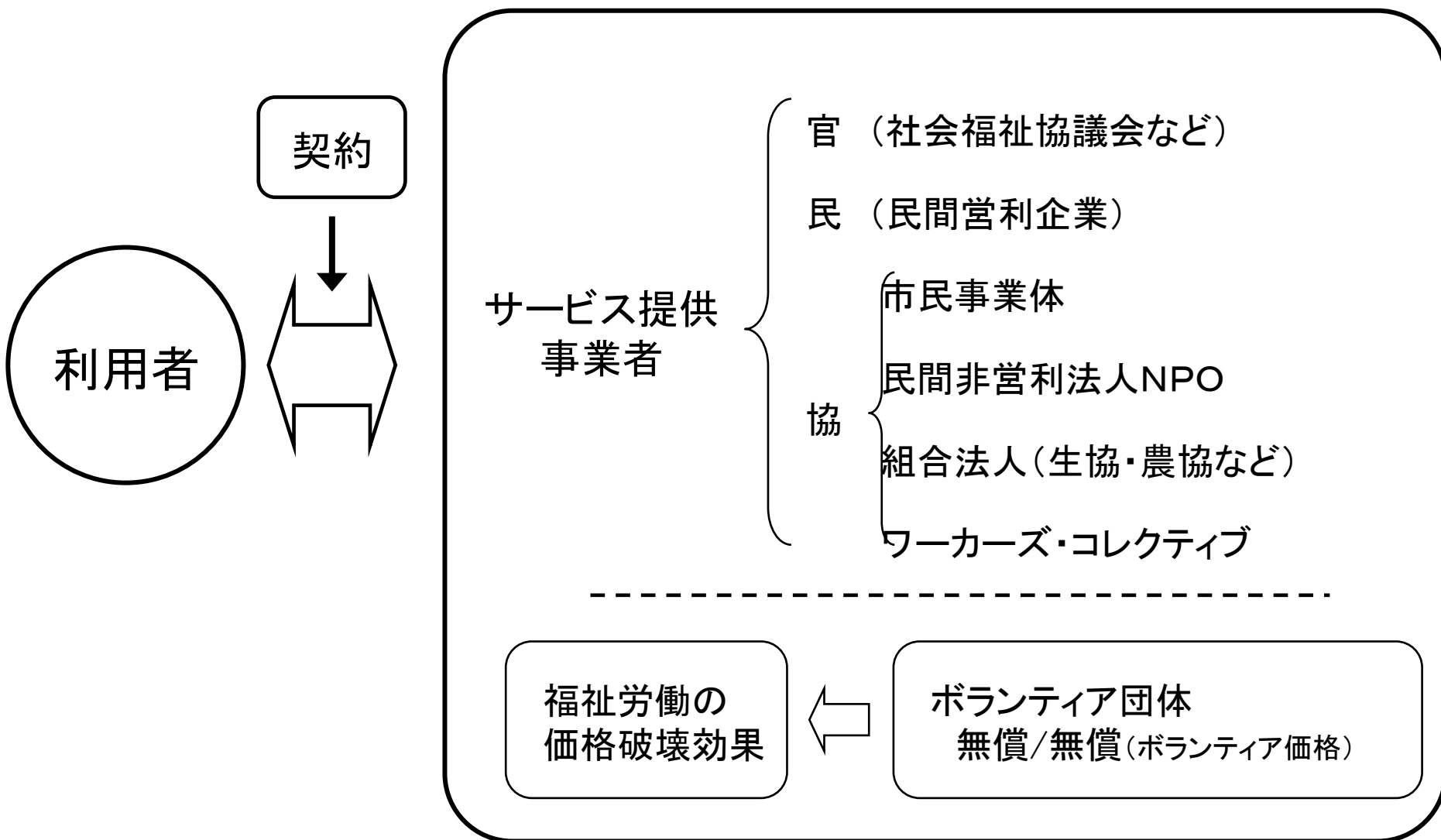
- 「介護はもはや家族だけの責任ではない」
 - 介護の社会化
 - 「ケアの私事化」から「ケアの脱私事化」へ
 - 「家族介護はいちばんよい」か？
- 介護保険による「サーチライト効果」

(樋口恵子)

介護保険がもたらした新しい行政手法



“外注”先の三類型





公

public

私

private

Public
(state)

公

Private
(family)

私

Market

民

協同
common

公
public

私
private

市場
market

協
Civil

Public
(state)

官

Private
(family)

私

Market

民

組織の存在理由

- 企業(営利法人)「最大利潤」
- NPO(非営利法人)「最適利潤」

NGOからNPOへ

1. 運動から事業へ
2. 女のタダ働きを報酬を伴う労働へ
(育児・介護の社会化)
3. 啓蒙・啓発(生涯学習)から人材育成へ
→市民ニーズからの仕事づくり
 - ・女の会社
 - ・ワーカーズ・コレクティブ
 - ・有償ボランティア団体

自治体とNPOのパートナーシップ

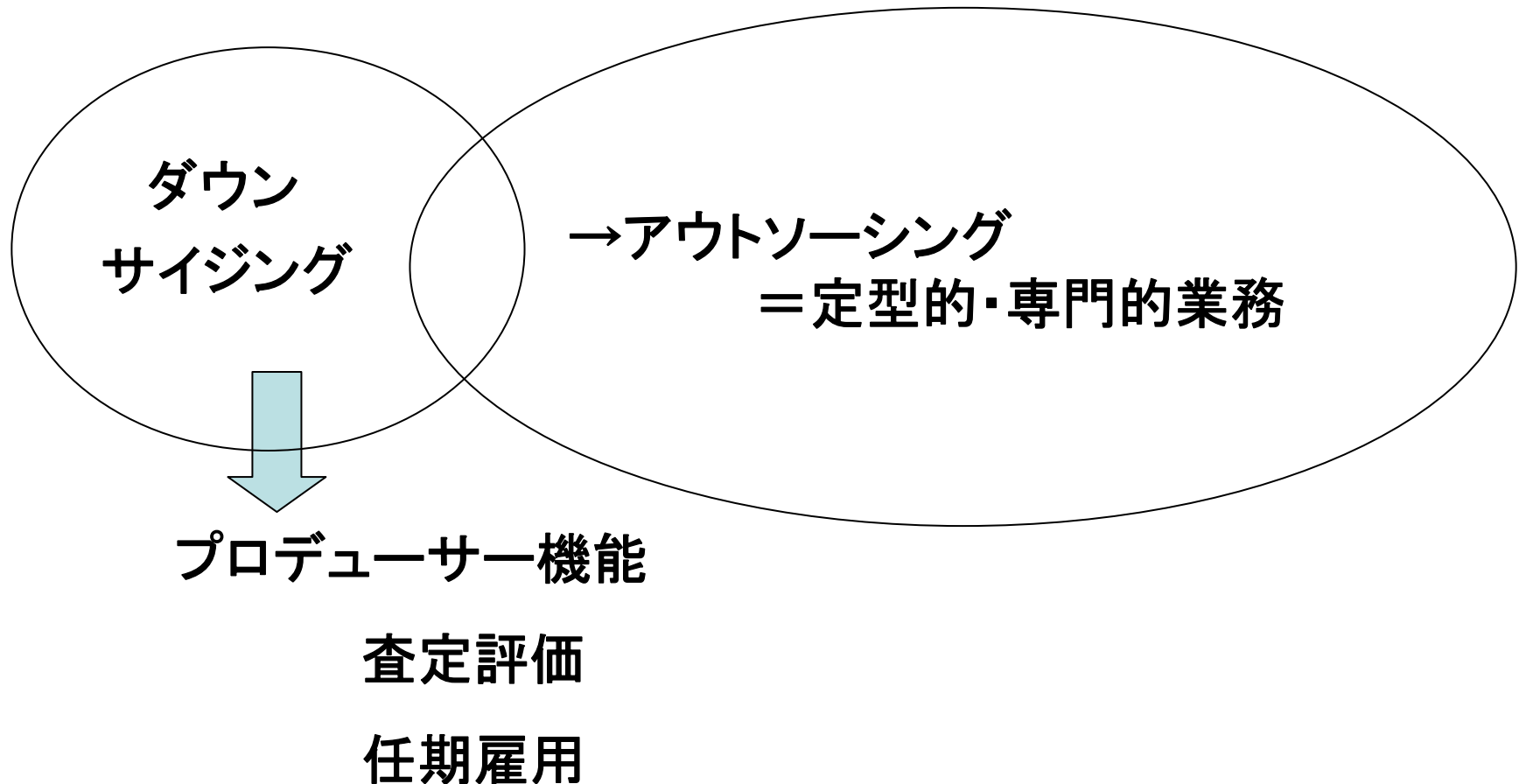
1. パートナー育成＝創業期支援
(インフラ整備)
2. 実績主義より先行投資
3. 公平で透明性のある査定評価
4. ジェンダー公正

創業期支援システム

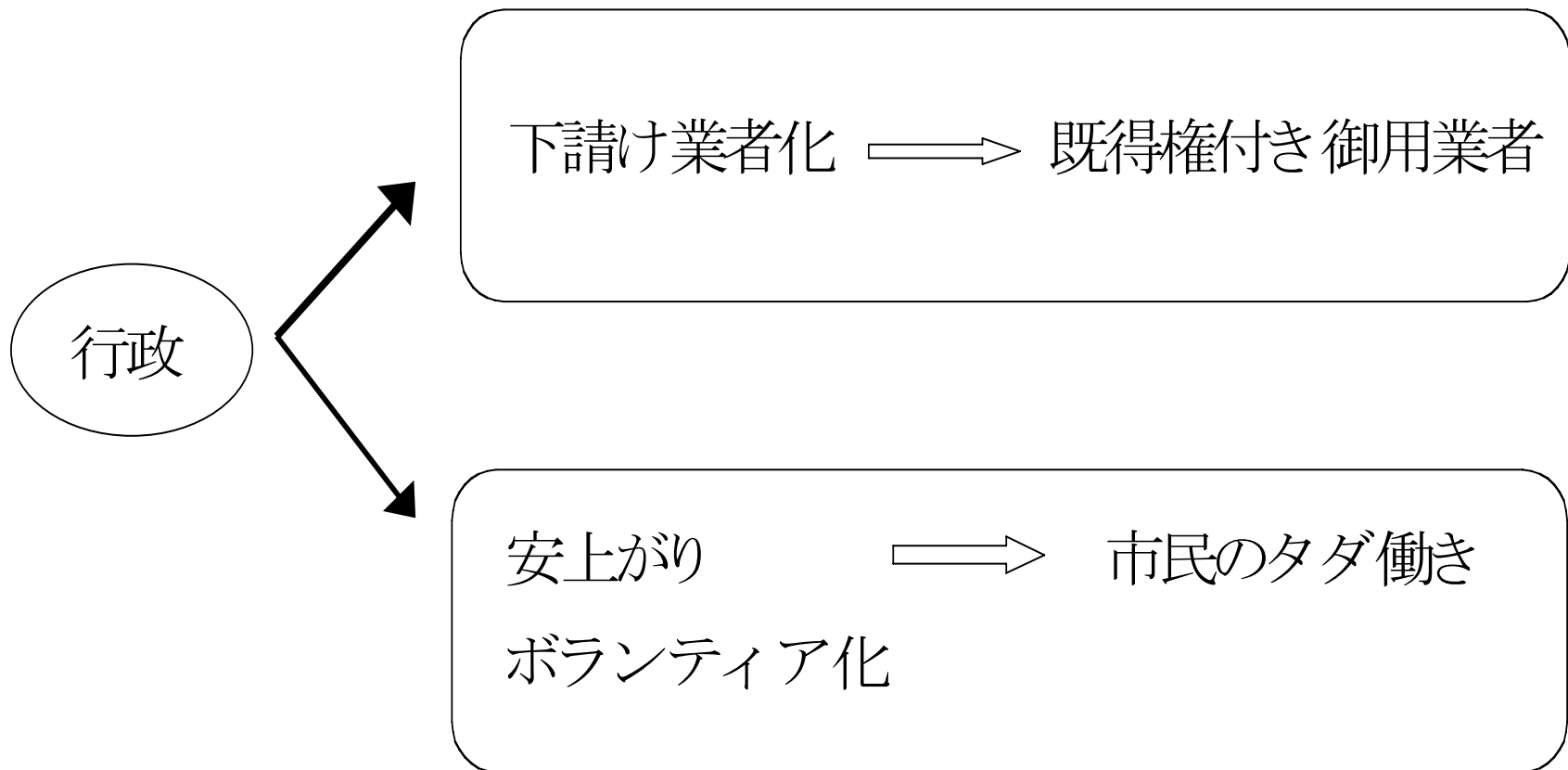
具体例

- 大津市元気クラブ
- 武蔵野市テンミリオンハウス事業

自治体の解体・再編 =指定管理者制度



NPOの罨



団体数と構成員数等の暦年動態

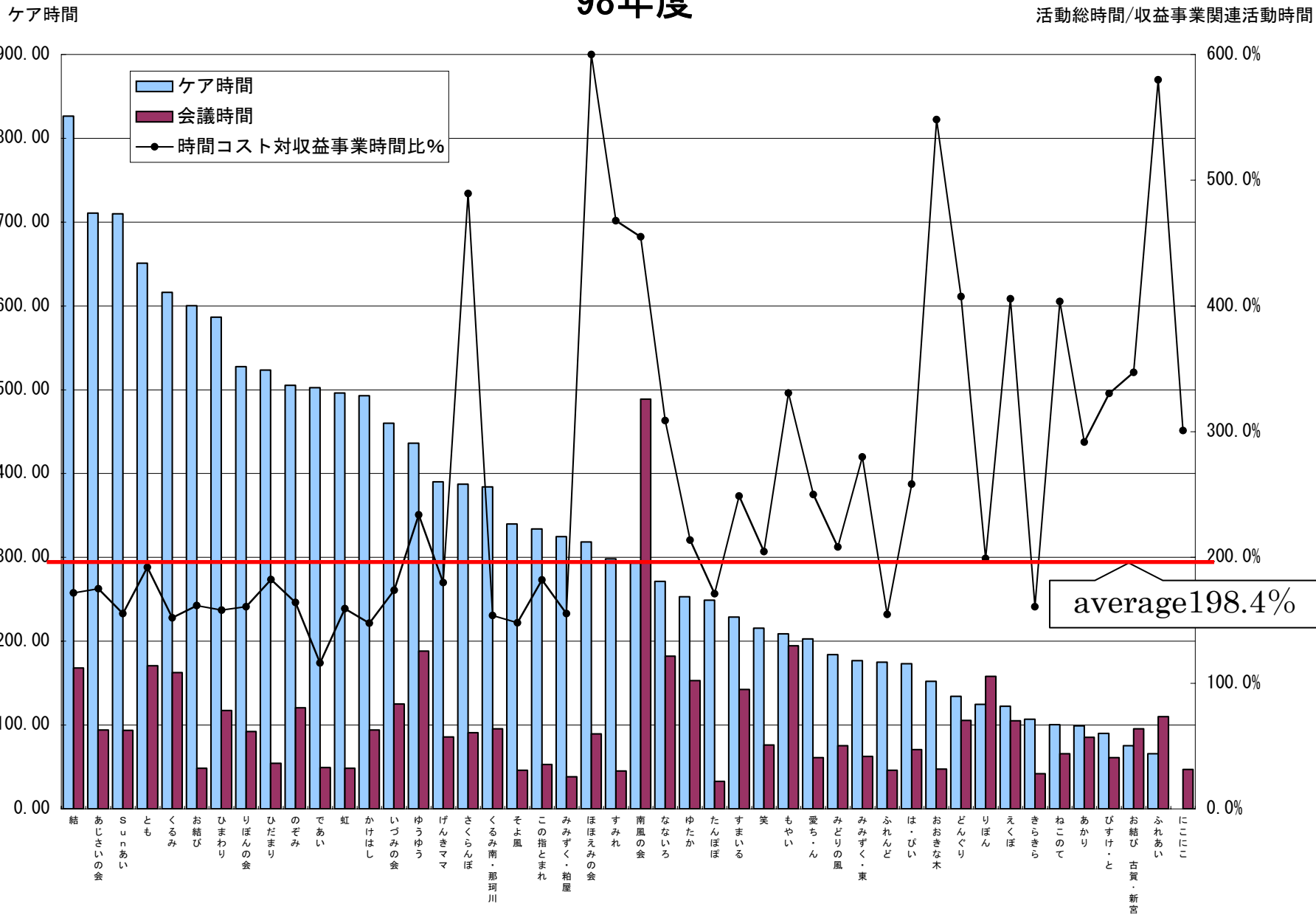
	団体数	構成員数	前年対比	利用登録人数	前年対比
95年12月現在	4	97人	—	123人	
96年12月現在	15	401人	413%	417人	339%
97年12月現在	27	763人	190%	1,071人	247%
98年12月現在	43	1,163人	152%	1,854人	173%
99年12月現在	54	1,592人	137%	2,699人	146%
00年12月現在	59	1,863人	117%	3,424人	127%

※95年度は96年3月末の数字。

時間利用調査(代表)

	ワーカーズ・コレクティブ 週間活動時間			
あかり	4 時間 00 分	26 時間 30 分	11, 800	244
とも	11 時間 30 分	47 時間 45 分		
もやい	0 分	53 時間 00 分	26, 000	115
ありす	5 時間 15 分	62 時間 15 分	72, 200	237
たんぽぽ	12 時間 15 分	35 時間 30 分		
結	11 時間 30 分	47 時間 30 分	72, 300	223

98年度



経営コスト比較

- 官(社会福祉協議会等) 700%
- 民(民間営利企業) 300%
- 協(市民事業体) 200%

→労働分配率は？

7分の1

3分の1

2分の1

当事者主権 self-governance

「わたしのことは、わたしが決める」
弱者の自己決定権

ニーズの当事者(ユーザー)
サービスの当事者(担い手)

- 1 ニーズに一番近いところにおり
- 2 地域から撤退できない立場にいる人々が
- 3 自分自身が受けたいサービスの
- 4 責任と報酬を伴った
- 5 サービスの担い手になる

→ ニーズとサービスの地域内の循環

中西正司 著
上野千鶴子

当事者主権



高齢者、障害者、女性、患者、不登校者…

当事者が 社会を変える

緊急かつ大胆な提言の書

岩波新書

定価(本体 700 円+税)

当事者主権とは何か

- 「利用者本位」「消費者主権」
 - 「当事者主義」
 - 「自立」と「自律」
 - 「自己決定・自己責任」
- わたしのことはわたしが決める

当事者とは誰か？

- 「当事者能力」をもっとも奪われてきた人たち
 - 「わたしが誰か」を他人に決められてきた人たち
 - 女性、子ども、高齢者、障害者
 - 当事者運動
- 社会的弱者の自己定義権の要求

「自立」のパラダイム転換

- 「自立」=依存のない状態？
- 「自立」神経失調症
- PPK運動の不思議
- 「かわいいおばあちゃん」の罠

「私は生きるために誰かの助けが必要だ」

→「だからと言って、その人に従わなければならない理由はない」

「介護」と「介助」のあいだ

介護保険の「自立」＝介護を必要としない状態

支援費制度の「自立」＝介助を得て自己決定できる状態

→障害者の権利擁護運動に比べて
高齢者の権利擁護運動は遅れている

2005研究計画

地域福祉の事例比較1

生協型地域福祉の3事例比較

- 1 ワーカーズコレクティブ傘下型(九州)
- 2 ワーカーズコレクティブ独立型(神奈川)
- 3 生協直営型(千葉)

地域福祉の事例比較2

1 官主導型（福祉公社モデル）

山形県鷹巣町／政変後の変化

2 協主導型（富山型小規模多機能デイ・モデル）

富山市／行政特区応募と厚労省のルール変更

31の小規模デイのネットワーク